

令和3年度事業報告

当法人が令和3年度に実施した事業について、次のとおり報告する。

第 事業の状況

1 全般的な事業の状況

種苗の生産・供給事業では、エゾアワビについては、南部地区から強い要望のあった春放流に対応するため、前年と同様に岩手県の民間業者から30mm種苗7.3万個を購入し供給した。また夏～秋期に天候不良による塩分低下や濁水等の影響で斃死した稚貝分として、11月に岩手県の民間業者から補充分の種苗を購入した。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響による市場低迷のため、アワビ漁業をはじめとする沿岸漁業がダメージを受けたことから、漁協に対し、その影響回復の支援を目的とした県の補助事業で、アワビ大型種苗の配布・放流が行われ、岩手県の民間業者から50mm種苗1.6万個を購入し、供給した。アワビ種苗供給数は、漁協・漁業者からの要望が減り、前年に比較し約5.7万個少なかった。

クルマエビは特に疾病の発生による生産不調も起こらず、順調に推移し、25mm稚エビを県内向けに1,349千尾、県外向けに248千尾を供給したほか、余剰分を男鹿半島周辺地区に協会の独自放流とした。

クロソイは、4月15～29日に天然親魚を入手し、4月20日から状態の良好な産仔魚を得て種苗生産を開始し、目標生産数は達成した。県内放流要望に供したほか、余剰分を男鹿半島北磯地区に協会の独自放流とした。

ヒラメについては、育成親魚から受精卵を収容し、4月7日から種苗生産を開始したが、県内受精卵の十分な確保が難しかったことから、4月8日に（公財）山形県水産振興協会から受精卵を譲り受け、あわせて種苗生産に供した。中間育成は一部を水産振興センター施設で行い、多くは6月1～2日に岩館ヒラメ中間育成施設に移送・飼育し、7月14日から配布、放流を行った。なお、宮城県で開催された全国豊かな海づくり大会のヒラメ稚魚のサポート生産について、大会イベントでの提供は不要になったが、10月21日に要請分の稚魚2千尾を提供した。

マダイについては、育成親魚から受精卵を収容し、5月26日から種苗生産を開始、7月19日から戸賀湾、椿漁港、金浦漁港に設置した網生け簀で漁協職員や漁業者の協力を得て中間育成を行った後、同様に協力を得て9月3日から放流した。

放流効果実証事業では、ヒラメは栽培基本計画180千尾に対し、211千尾を放流することができた。またマダイは栽培基本計画300千尾に対し、389千尾を放流することができた。

種苗の需要減少が続く中、前年に引き続き（一社）日本釣用品工業会が全国展開する「つり環境ビジョンコンセプトに基づくLOVE BLUE事業専門機関と連携した放流事業」を実施し、（一社）日本釣用品工業会から指定を受けた日本釣振興会秋田県支部会員と一緒に秋田港でマダイ稚魚を放流したほか、男鹿マリクラブが男鹿マリーナで行っている「海の日記念イベント」でヒラメ稚魚を放流、秋田県つり連合会が北浦漁港で行っている「マダイ稚魚放流式」に合流しマダイ、クロソイ稚魚を放流したが、新型コロナウイルス

ルス感染症対策のため、いずれも児童や一般の参加者による放流は見合わせ、それぞれ会員と協会職員による稚魚放流とした。

アワビ種苗生産施設においては、懸案となっていた飼育水の塩分濃度低下の影響を受け稚貝が斃死するトラブルの回避を目的に、県の補助を受け、取水口位置と導水ラインの変更とろ過器を更新する工事を実施した。

なお、令和3年10月3日、宮城県で開催された全国豊かな海づくり大会～食材大国みやぎ大会～において、当協会のこれまでの栽培漁業を通じた水産資源の維持増大への取り組みが漁業の発展に寄与したとして栽培漁業部門の大会会長賞を受賞した。

2 各事業の状況

(1) 種苗生産・供給事業

エゾアワビ

生産施設 (公財) 秋田県栽培漁業協会アワビ種苗生産施設(象潟)

供給時期 5月14日～翌年3月2日

供給種苗

県内	平均殻長	20mm	326,220個
		30mm	123,564個
		50mm	16,000個
合計		20～50mm	465,784個

クルマエビ

生産施設 秋田県水産振興センター育成棟

供給時期 9月29日～10月5日

供給種苗

県内	平均全長	25mm	1,348,960尾
県外		25mm	248,000尾
合計		25mm	1,596,960尾

ヒラメ(放流・養殖用の中間育成)

育成施設 秋田県水産振興センター実験棟及び(公財)秋田県栽培漁業協会

ヒラメ中間育成施設(岩館)

供給時期 7月14日～9月14日

供給種苗

県内	平均全長	50mm	20,000尾(中間育成放流用)
		80mm	32,105尾(LOVE BLUE事業放流)
		80mm	40,000尾(水産多面的事業放流)
県外		80mm	2,000尾(宮城県)
合計		50～80mm	94,105尾

(公社)全国豊かな海づくり推進協会による広域種資源造成型栽培
漁業推進事業(資源造成事業:日本海北部海域ヒラメ)
平均全長 88.6mm 51,500尾(放流用)

マダイ(放流用等の中間育成)

育成施設 秋田県水産振興センター育成棟

供給時期 9月3、6日

供給種苗

県内 平均全長 85mm 20,220尾(LOVE BLUE事業放流)

クロソイ

生産施設 秋田県水産振興センター実験棟

供給時期 9月3日

供給種苗

県内 平均全長 80mm 20,000尾(LOVE BLUE事業放流)

ガザミ(斡旋事業)

供給時期 6月25日~7月30日

購入・供給種苗 秋田県水産振興センターが生産した種苗を購入し、斡旋配布

県内 平均甲幅 5mm 1,515,000尾

(2)放流効果実証事業

ヒラメ

種苗生産

生産施設 秋田県水産振興センター育成棟

生産期間 4月7日~6月3日

生産種苗 平均全長 24.1~27.9mm

生産尾数 655,000尾

中間育成

中間育成施設 秋田県水産振興センター育成棟、実験棟及び(公財)秋田
県栽培漁業協会ヒラメ中間育成施設(岩館)

中間育成期間 6月1日~9月14日

取り上げ尾数 356,405尾

放流日 7月14日~9月14日

放流種苗 平均全長 88~106mm

放流尾数 210,800尾(残り145,605尾は(1)の に掲載)

マダイ

種苗生産

生産施設 秋田県水産振興センター育成棟
生産期間 5月24日～7月21日
生産種苗 平均全長 35.3～41.7mm
生産尾数 675,000尾

中間育成

ア 中間育成施設 秋田県水産振興センター育成棟
中間育成期間 7月19日～9月14日
取り上げ尾数 59,500尾
放流日 9月3～14日
放流種苗 平均全長 75.1～90mm
放流尾数 39,280尾(残り 20,220尾は(1)の に掲載)

イ 中間育成施設 男鹿市戸賀 戸賀港内 網生け簀
中間育成期間 7月19日～9月7日
放流日 9月7日
放流種苗 平均全長 82.6mm
放流尾数 119,000尾

ウ 中間育成施設 男鹿市船川港 樺漁港内 網生け簀
中間育成期間 7月20日～9月7日
放流日 9月7日
放流種苗 平均全長 81.0mm
放流尾数 164,100尾

エ 中間育成施設 にかほ市金浦 金浦漁港内 網生け簀
中間育成期間 7月21日～9月8日
放流日 9月8日
放流種苗 平均全長 86.6mm
放流尾数 71,300尾

放流効果調査及び資料集計

ヒラメ・マダイの市場調査

期 間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

ヒラメ・マダイについて、県内産地市場調査を行い人工放流種苗の混入を調査。

(3) 県水産振興センターの種苗飼育等業務の受託事業

秋田県水産振興センターで飼育や種苗生産を行っている魚介類（ヒラメ親魚、マダイ親魚、キジハタ親魚、トラフグ、ガザミ、アユ、キジハタ）の飼育補助、ワムシ等餌料生物の生産補助を受託した。

(4) 栽培漁業啓発普及事業

八峰町八森漁港を会場に、9月14日第29回放流式を開催し、関係者と八峰町立八森小学校児童によるヒラメ・マダイの稚魚放流を実施し、児童の栽培漁業に関心を持ってもらう学習に対応した。

また、当協会ホームページでは、事業状況の他に、新着情報として各種苗の生産状況や放流情報を写真入りで発信した。

(5) 種苗生産施設緊急整備事業（象潟アワビ種苗生産施設設備工事）

事業の概要

工事箇所 象潟アワビ種苗生産施設（にかほ市象潟町入湖ノ澗19-3）

概要 海水取水口を大澗海水浴場の沖合地点に新設

取水管 ポリエチレン管 直径 500mm 延長 262.2m

着水槽 本体（RC製）及び導水管 一式

ろ過設備 砂式自動型（圧力式） 一式

取水ポンプ 海水用 揚水能力 毎時 125m³/基 2基（移設）

設計・発注者支援業務

- ・株式会社アルファ水工コンサルタンツ

基本設計及び発注者支援業務

取水設備工事

- ・村岡建設工業株式会社

取水口設置、取水管敷設、着水槽建築、揚水ポンプ設置、送水管敷設工事

- ・株式会社兼松工務店

海水揚水ポンプ小屋建築、ポンプ小屋電気設備、フェンス設置工事

- ・丸本器械株式会社本荘営業所

海水ろ過器設置工事及び旧ろ過設備撤去工事

その他

- ・株式会社管通 取水管清掃用ピグランチャー

- ・第一物産株式会社酒田支店 着水槽スクリーン

第 処務の概要

1 役員に関する事項

(1) 評議員

令和4年3月31日現在

役 職	氏 名	就任年月日	所 属 等
評議員	遠 藤 実	H 29 . 6 . 27	秋田県内水面漁場管理委員会長
同	工 藤 裕 紀	H 29 . 6 . 27	秋田県漁業協同組合専務理事
同	日 沼 一 之	H 30 . 6 . 27	八峰町副町長
同	工 藤 力	R 3 . 6 . 28	能代市農林水産部長
同	檜 森 定 勝	R 元 . 6 . 26	三種町副町長
同	田 村 力	R 3 . 6 . 28	男鹿市産業建設部長
同	櫻 庭 春 樹	R 元 . 6 . 26	潟上市産業建設部長
同	新 出 康 史	R 元 . 6 . 26	秋田市産業振興部長
同	今 野 政 幸	R 3 . 6 . 28	由利本荘市農林水産部長
同	本 田 雅 之	H 30 . 6 . 27	にかほ市副市長

任期は4年 令和6年度事業決算承認にかかる定時評議員会終了時まで

(2) 理事・監事

令和4年3月31日現在

役 職	氏 名	就任年月日	所 属 等
理事長	大 竹 敦	R 2 . 6 . 29 (H 27 . 6 . 13)	前秋田県水産振興センター所長 (理事就任年月日)
理 事	石 井 好 勝	H 27 . 6 . 13	八峰町峰浜漁業協同組合代表理事組合長
同	大 高 光 晴	H 元 . 6 . 26	能代市浅内漁業協同組合代表理事組合長
同	畠 山 成 功	H 29 . 6 . 27	三種町八竜漁業協同組合副組合長理事
同	船 木 律	H 27 . 6 . 13	秋田県漁業協同組合常勤監事
同	小 松 斉	H 29 . 6 . 27	元全国広域漁船保険組合秋田県支所長
同	齋 藤 寿	R 2 . 6 . 29	(公財)秋田県栽培漁業協会(事務局長兼務)
監 事	鎌 田 重 美	R 3 . 6 . 28	男鹿市農林水産課長
同	藤 嶋 茂	H 27 . 6 . 13	全国漁業信用基金協会監事・秋田支所監事

任期は2年 令和4年度事業決算承認にかかる定時評議員会終了時まで

2 職員に関する事項

令和4年3月31日現在

職 名	氏 名	採用年月日	担 当 業 務 等
事務局長	齋 藤 寿	R 2 . 4 . 1	事務関係全般 総括 (専務理事兼務)
主任技術員	三 浦 肇	H 5 . 4 . 1	魚介類種苗生産・中間育成・放流効果調査
主任技術員	杉 本 修	H 8 . 4 . 1	魚介類種苗生産・中間育成 (象潟アワビ施設勤務)
技 術 員	佐 藤 亮 太	H 27 . 4 . 1	魚介類種苗生産・中間育成・放流効果調査

3 役員会に関する事項

(1) 理事会

開催月日	議 決 事 項	出席者数及び議事の結果
R 3. 5.27	議案第1号 令和2年度事業報告・貸借対照表・損益計算書 (正味財産増減計算書)及び財産目録承認の件 議案第2号 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である 事項等の件	現在理事数 8名 定足数 5名 出席数 6名 監事出席数 1名 議事の結果 ・ 議案第1号 原案どおり承認 ・ 議案第2号 原案どおり決議
R 3. 6.28	議案第1号 理事長等の選任の件	現在理事数 7名 定足数 4名 出席数 6名 監事出席数 2名 議事の結果 ・ 理事互選により選任
R 4. 3.30	議案第1号 令和3年度収支補正予算書(案)の承認の件 議案第2号 象潟アワビ種苗生産施設取水設備工事に係る 基本財産取り崩しの件 議案第3号 固定資産の取得の件 議案第4号 正職員再雇用取扱規程の制定の件 議案第5号 令和4年度事業計画書(案)、収支予算書(案)、 資金調達及び設備投資(案)の承認の件 議案第6号 臨時評議員会の日時及び場所並びに目的である 事項等の件	現在理事数 7名 定足数 4名 出席数 4名 監事出席数 1名 議事の結果 ・ 議案第1、2、3、5号 原案どおり承認 ・ 議案第6号 原案どおり決議 ・ 議案第4号 一部修正し承認

(2) 評議員会

開催月日	議 決 事 項	出席者数及び議事の結果
R 3.6.28	定時評議員会 議案第1号 令2年度事業報告・貸借対照表・損益計算書 (正味財産増減計算書)及び財産目録承認の件 議案第2号 評議員の選任の件 議案第3号 理事の選任の件 議案第4号 監事の選任の件	現在評議員数 8名 定足数 5名 出席数 5名 理事出席数 1名 監事出席数 1名 議事の結果 ・議案第1号 原案どおり承認 ・議案第2、3、4号 原案どおり決議

4 契約に関する事項

契約締結月日	契約の相手方	契 約 の 概 要
R3.3.19	秋田県水産振興センター所長	令和3年度 水産振興センター種苗飼育等業務受託 (期間R4.3.31まで) 契約額 7,215,344円

象潟アワビ種苗生産施設海水取水設備関係

契約締結月日	契約の相手方	契 約 の 概 要
R2.12.19	アルファ水工コンサルタンツ	設計・発注者支援業務委託 契約額 15,241,600円
R2.12.25	村岡建設工業株式会社	取水設備工事 取水口、取水管敷設、着水槽建築、 揚水ポンプ設置、取水管・送水管敷設工事 契約額 159,063,300円

R3.12.27	株式会社兼松工務店	海水揚水ポンプ小屋建築工事 契約額 3,832,400円
R4. 2.25	株式会社兼松工務店	ポンプ小屋電気設備工事 契約額 2,504,700円
R3.12.27	株式会社兼松工務店	フェンス設置工事 契約額 885,500円
R3.12.27	丸本器械株式会社本荘営業所	海水ろ過施設設置工事 契約額 19,360,000円
R3.12.27	丸本器械株式会社本荘営業所	既海水ろ過設備撤去工事 契約額 1,166,000円
R3. 8.26	株式会社管通	備品・設備 取水管清掃用ピグランチャー 契約額 1,010,900円
R4. 3. 4	第一物産株式会社酒田支店	着水槽スクリーン 契約額 192,500円